令和５年度 ふじみ野市立大井小学校 学校だより 第１０号　令和６年２月１日発行

開校１４９周年
明治７年開校
旭黌

おおい

大井小１５０周年記念
キャラクター「サニーちゃん」

《学校の教育目標》 仲よくする子　考える子　たくましい子

誰にでもやさしい言葉がかけられそうな気がする・・・

校長　抜井由美子

１月１日に発生した能登半島地震から１か月が経ちました。被災された方々の傷も癒されず、また、今後の生活への不安が続いています。しかし、暦の上では、２月３日の節分の日で冬が終了し、翌日の立春から春が始まります。梅の花もほころび始め、春の訪れを感じる昨今となりました。

さて、１月の生活目標は「ていねいな言葉遣いをしよう」でした。学校では、よく「ふわふわ言葉」や「ちくちく言葉」という言い方をします。本校では、さらに、「ぽかぽか言葉」も使います。このような言葉をつかえると心が育まれていることを感じます。

ありがとう　すごいね　じょうずだね　がんばっているね　たのしいね
おうえんしているよ　元気を出してね　おはよう　たよりになるね　すてきだね
やさしいね　だいじょうぶ？　よかったね　うれしいよ　ごめんね　大好き
手伝うよ　気がきくね　おめでとう　なかまだね

学校がこのような言葉でいっぱいになったら、いつも心が癒され、幸せな気持ちで過ごすことができるように思います。言葉は上手に使うと、うまくいくことも多いです。そのような時は、言葉のもつ力の素晴らしさを感じます。今日は昨日より多く「ふわふわ言葉」や「ぽかぽか言葉」をつかえるよう心掛けていきたいものです。ご家庭でも考えていただけるとありがたいです。

【星野富弘さんの詩】

大谷翔平選手からグローブが届きました。大谷選手からの手紙には、「このグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。野球しようぜ。」とあります。グローブに触れた子供たちの瞳はとても輝いています。